

名誉会員・会長表彰

2023年(令和5年)6月15日(木) 会場：大手町サンケイプラザ

※新型コロナウイルス感染拡大阻止対策を踏まえ表彰式は希望者のみ出席

【名誉会員】佐々木 勝 介

(機械／総合技術監理部門)



1. 略歴

技術士登録(H12)

日本技術士会入会(H12)

北海道支部 技術士試験委員会委員(H15～16)

北海道本部 幹事(H19～24)

地方裁判所専門委員(H20～R3)

機械部会 北海道地域本部幹事(H15～現在)

2. 名誉会員に推挙されて

この度、日本技術士会の名誉会員に推挙頂きました。関係各位の皆様にも、厚く御礼申し上げます。これも偏に北海道本部及び機械部会の方々との出会いがあったためと感謝申し上げます。技術士会に入会出来、技術士活動導いて下さったのは、当時「工業技術士研究会」の会長の故阿部任様と現名誉会員栗林益美様でした。お二人に出会えたことが私にとって幸運でした。お二人の所属するMC会(道内機械系技術士の会)にも入会させて頂きました。故阿部任様には、技術士活動がなんであるかをご一緒させていただいた試験委員会や工業技術士研究会で知ることが出来ました。また栗林益美様からは、機械部会北海道幹事を仰せつかり部会活動を経験することが出来ました。これらの技術士活動を通じ多くの技術士との素晴らしい出会いと人脈が出来ましたことをお礼申し上げます。又平成19年に地方裁判所専門委員に北海道本部より推薦受け、裁判所のアドバイザー的立場から「争点及び証拠の整理」等で専門的知見に基づき活動してきました。同じ技術士が、鑑定人で鑑定書を提出している場合、証拠に成りますので緊張感もち自分の知見と良心に従い論証したことが技術士としてよい経験になりました。今後は、皆様より技術士として受けた恩をMC会の会長として若い技術士がより良く技術士活動出来るように支援して行きたいと考えております。今後は名誉会員に推挙されたことに恥じない様に技術士活動を通じ日本技術士会、特に北海道本部及び機械部会の発展に寄与して行きたいと考えております。



1. 略歴

技術士登録 (H17)
日本技術士会入会 (H17)
北海道支部 e ラーニング特別委員会委員 (H17 ～ 18)
北海道本部 業務委員会委員 (H23 ～ 24)
北海道本部 社会活動委員会委員 (H25 ～ 現在)
同 エンジョイ・サイエンス研究委員会代表 (H28 ～ R4)
北海道本部 幹事 (H29 ～ R4)

2. 会長表彰を受賞して

技術士になったとき「何かをやるう！」と意思があったわけではありませんでした。只、漠然と「技術士会でなければ体験できないことがあるといいな～」と思った記憶があります。あれから 18 年経ちましたが、「技術士のネットワーク」により、とても有意義に活動をさせて頂きました。年齢の上下の隔てのない社外の自分の専門外の人間との交流は専門分野の知見を深められました。

また、6 年間代表を務めたエンジョイ・サイエンス (ES) 研究委員会の活動に於いては、「子ども達に理科の面白さを伝えよう」という理念を共有できる仲間と行動を共にできたことは自身の技術士としても立ち位置を自覚し、人間的にも成長できたと思っています。知識、経験・体験、社会的地位もある技術士として社会では子どもや学生、会社では若手に自分の持っているものを伝えるのは当然のこととして行動できるようになりました。「公益確保の責務」に繋がりますが、そんな大義名分を振りかざさなくても同様の考えで一緒に活動する人間がいるのは喜ばしい限りです。

最後に、ES 研究委員会を始め、私の所属した委員会活動をフォローして下さった事務局および私を会長表彰に推薦して頂いた方々に感謝の意を表します。



1. 略歴

技術士登録(H11)
日本技術士会入会(H19)
北海道支部 道東技術士協議会 CPD 事業検討部会長(H18～19)
北海道支部 道東技術協議会 副会長(H20～21)
北海道支部 道東技術士会 副代表(H22～24)
北海道本部 道東技術士委員会 副代表(H25～26)
北海道本部 副代表幹事(H27～28)
北海道本部 道東技術士委員会 代表(H27～現在)

2. 会長表彰を受賞して

この度は会長表彰に推薦していただきまして誠にありがとうございました。今回の受賞は、「技術士として、きちんとした技術力をもって社会に貢献するように」ということだと受けとめております。

私が技術士に合格したのは平成10年(1998年)です。当時は一般紙に合格者の氏名が発表されており、前の晩から寝ないで朝刊が来るのを待っていたことを覚えています。面接でうまく答えられず半分あきらめていたので、名前を見つけて大喜びしました。

技術士に合格したことで大いに満足して、何だか技術力が上がったような気分になりましたが、本当の技術力はなかったと思います。平成15年に帯広に来まして、道東技術士会(当時)に仲間入りさせていただき、技術者としての心がけを勉強させていただきました。会長表彰を受賞できたのも、道東技術士委員会の皆様のおかげです。

先日、自己紹介の機会があり、「河川を専門とする技術士の肩書でコンサルタントをやっております」と述べました。こう言い切ったからには、技術士として恥ずかしくない仕事をしなければと頑張っているところです。今後ともご指導をよろしくお願いいたします。